

平成18年度 山口県高等学校バスケットボール新人大会兼山口県体育大会
H19年(2007年)1月19日(金)・20日(土) 周南市総合スポーツセンター

男子決勝リーグ 1月19日 9:30

豊浦 vs 岩国工 11 - 11 24 - 14 13 - 10 25 - 15 **73 - 50**

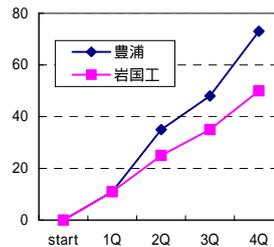
Starters

豊浦 #4高野 #6重宗 #7大森 #11竹中 #18原
 岩国工 #4倉重 #6田谷 #7村上 #9橋本 #10森

主審 河村正夫
 副審 浅利祐輝

両者マンツーマンDEFでスタート。豊浦は1年生センター#9白川を怪我で欠く苦しい状態。お互い緊張から中々シュートが決まらない。先手を取ったのは岩国工。#4のミドルシュートや#9のゴール下で先制する。豊浦も#6のシュートで対抗し、11-11と同点で1Q終了。2Q岩国工は#9を中心に、豊浦は#7#11で得点を重ねる。5分過ぎから豊浦はDEFの当たりを強め、パスカットからの速攻や#11#4の3Pなどで35-25とリードを広げて前半終了。

3Q岩国工はインサイドを起点に、豊浦は外からの攻撃で一進一退の展開となる。シュートの確率で上回った豊浦が48-35とリードを広げて終了。4Qゲームの流れは変わらず、お互いミスが続くも豊浦がリードを保ったまま終盤を迎える。岩国工は残り5分でT.Oをとるが、流れを引き寄せすることはできない。豊浦がそのまま逃げ切り、73-50で一勝目を挙げた。



男子決勝リーグ 1月19日 11:00

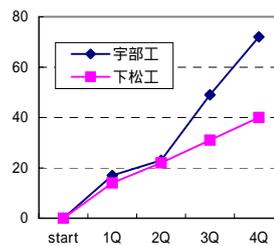
宇部工 vs 下松工 17 - 14 6 - 8 26 - 9 23 - 9 **72 - 40**

Starters

宇部工 #4宗野 #5池田 #7摩嶋 #8三輪 #10辰本
 下松工 #4磯村 #5関 #6宮本 #7片田 #15兼石

主審 弘中 勤
 副審 藤田 薫

お互いにリーグの緒戦ゆえか、硬い立ち上がり。宇部工は#7を中心としたOFFで、下松工は早い展開からのシュートで対抗し、17-14で1Qを終える。2Qに入っても重い流れは変わらない。下松工の寄り戻りの早い運動量豊富なDEFに、宇部工のOFFはリズムを崩し、ミスを重ね、5分間無得点が続く。しかし下松工のOFFも決定力を欠き、唯一#5の1対1で活路を見いだそうとする。下松工の健闘が光る前半ではあったが、両チームとも得点は伸びず、結局23-22の宇部工1点リードで前半を終了した。後半に入って、ようやく宇部工のアウトサイドシュートが当たり出す。下松工も#5を起点としたOFFで追いつくが、なかなかシュートが決まらない。ゲームの流れを変えようと下松工は2-3のゾーンDEFに切り替えるが功を奏さず、また、フロントからの圧力を受けてボール運びでのミスも目立ちはじめ、宇部工が勢いを得、勝負の大勢は決してしまっ。後半は3Q26-9、4Q23-9と現時点での個々の能力差が如実に表れ、一方的なスコアで宇部工が勝利した。



男子決勝リーグ 1月19日 12:30

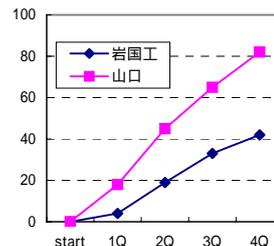
岩国工 vs 山口 4 - 18 15 - 27 14 - 20 9 - 17 **42 - 82**

Starters

岩国工 #4倉重 #6田谷 #7村上 #9橋本 #10森
 山口 #4隅広 #5清水 #6上田 #7中原 #8水田

主審 高部貴透
 副審 山村征大

両チームマンツーマンDEFでゲームスタート。岩国工は#9のインサイドを起点に攻撃をしかけるが、相手DEFの寄りが早く、思うように得点できない。対する山口は、早いパッシングから着実にジャンプシュートを決め得点していく。1Qは4-18で山口リード。2Q、山口は#4のドライブ、3P等で加点し、一気に引き離しにかかる。9-31と点差が開いたところで岩国工がT.Oをとる。その後、岩国工は#9へのパスがつながり、インサイドで得点を重ねるが、19-45と山口リードのまま前半終了。後半に入り、岩国工は#4の3P等で追いつくが、試合の流れを変えるには至らず苦しい展開が続く。一方、試合の主導権を握った山口は、メンバーチェンジ後も、早いパッシングで相手DEFを翻弄し、着実に加点し、相手の追従を許さない。4Qも、失点を一桁に押さえ込んだ山口が、相手に一度もリードを許さず、42-82で勝利。中国大会出場に一歩近づいた。



男子決勝リーグ 1月19日 14:00

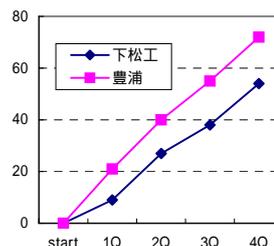
下松工 vs 豊浦 9 - 21 18 - 19 11 - 15 16 - 17 **54 - 72**

Starters

下松工 #4磯村 #5関 #6宮本 #7片田 #15兼石
 豊浦 #4高野 #6重宗 #7大森 #11竹中 #18原

主審 大谷昌克
 副審 石原大資

下松工はマンツーマン、豊浦は2-2-1ゾーンプレスから2-3ゾーンでスタート。下松工はゾーンを組まれる前に#5のジャンプシュートや#6のポストシュート、豊浦は#4#7#11の3Pで得点する。下松工はゾーンにDEFに対してOFFリズムをつかめず9-21とリードを許す。2Q下松工も2-3ゾーン、OFF時モリズムをつかみポスト経由で加点していく。しかし、豊浦は#7の3Pやドライブなどの連続得点で譲らず、点差は縮まらない。3Q下松工はハーフコートに入ってからプレスDEFで、ターンオーバーを誘うが豊浦の帰りが早くなかなかチャンスをもにできない。豊浦は前半同様ゾーンプレスゾーン。相手の早いプレッシャーになかなか3Pを打てず#6のドライブでなんとか加点していく。お互い攻めあぐね得点が伸びない。3Qを終え38-55。4Qも下松工はポスト経由で#13がゴール下、#15がミドルシュートを決め追いつくが、豊浦は#4#7#11が要所で3Pを決め1Qのリードを保ったまま試合終了。豊浦は2勝目を挙げた。



男子決勝リーグ 1月19日 15:30

山口 vs 宇部工 9 - 17 8 - 26 9 - 20 24 - 22 **50 - 85**

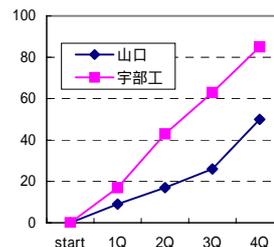
Starters

山口 #4隅広 #5清水 #6上田 #7中原 #8水田
 宇部工 #4宗野 #5池田 #6岸本 #7摩嶋 #10辰本

主審 渡辺博史
 副審 枝折康隆

両チームマンツーマンDEFでスタート。宇部工は1対1のDEFが激しく、山口は簡単にドライブできない。アウトサイドシュートに頼るが、入らず波に乗れない。1Qは9点に抑えられる。対して、山口もインサイドへの寄りを早く、宇部工のミスを誘いにかかるが、#7が安定したプレーで得点を重ねていき、宇部工ペースの展開。2Qに入っても宇部工の勢いは止まらず、むしろ加速していく。2Qだけで宇部工#10が3連続3Pを決めるなど11得点、#6も9得点の大活躍。DEFでも山口の得点を一桁に抑え、宇部工26点の大量リードで後半へ。

3Q、意地を見せたい山口だが、宇部工は集中力を切らすことなく、差は開いていく。山口は得意のチームOFFが機能せず、1対5のようなOFFになり、苦しい展開が続く。4Qには入り、山口は本来のリズムを取り戻し、思い切りの良いシュートが決まり出すが、時既に遅く、終わってみれば、宇部工、圧勝で2勝目を挙げた。



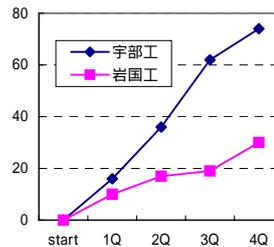
平成18年度 山口県高等学校バスケットボール新人大会兼山口県体育大会
H19年(2007年)1月19日(金)・20日(土) 宇部市儀田翁記念体育館

男子決勝リーグ 1月20日 9:00

宇部工 vs 岩国工 16 - 10 20 - 7 26 - 2 12 - 11 **74 - 30**

Starters
宇部工 #4宗野 #5池田 #6岸本 #7摩嶋 #10辰本 主審 藤井政則
岩国工 #4倉重 #6田谷 #7村上 #9橋本 #10森 副審 高部貴透

両チームマンツーマンディフェンス。宇部工#5のゴール下#7のミドルシュートでリードする。岩国工は宇部工のDEFプレッシャーに外角中心の攻めとなりなかなかシュートが決まらない。宇部工8-2で岩国工いきなりT.O.再開後、岩国工は#9のハイポストを中継し#6のジャンプシュートやドライブ、#9自身のポストシュートなどでリズムをつかみ追いつくが、1Q終了間際、宇部工#4の2連続3Pで16-10と突き放す。2Qも宇部工のDEFはゆるまず、岩国工はパスミスが目立ちターンオーバーからの速攻をゆるしてしまふ。岩国工#4が3Pで返すも宇部工の勢いは止まらず36-17で前半終了。後半も宇部工はDEFを頑張る。選手交代をしながら積極的にダブルチームをしかけ、スチールからレイアップ、3Pと自在に加点していく。岩国工も#9がミドルシュートやリバウンドシュートに一人人気を吐くが反撃もそこまで。宇部工が選手層の厚さを見せつけ、3勝目を挙げ、中国大会への切符を手にした。

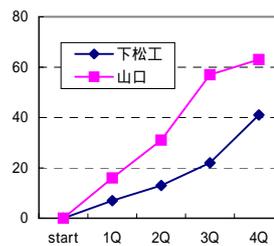


男子決勝リーグ 1月20日 10:30

下松工 vs 山口 7 - 16 6 - 15 9 - 26 19 - 6 **41 - 63**

Starters
下松工 #4磯村 #5関 #6宮本 #7片田 #15兼石 主審 松本 理
山口 #4隅広 #5清水 #6上田 #7中原 #8水田 副審 浅利祐輝

中国大会を狙う重要な一戦。1Q両チームマンツーマンでスタート。下松工の柱#5を山口#4が守る。下松工の#5を中心とした攻めは、山口の徹底したマークに合い、リズムが掴めない。一方、山口も思うようにシュートが入らないが、山口が16-7とリードして終了。2Q、互いに我慢の時間帯が続く。5分間で山口7-2下松工と膠着状態。この状態を打開しようと、下松工はT.O.をとり、リバウンドからのアーリーに活路を見いだそうと、マンツーマンから3-2のゾーン敷くが、山口31-13下松工で前半終了。3Q山口はシュートが入り出し、流れを一気に引き寄せた。下松工は楽にシュートを打たせてもらえず、ストレスがたまっていく。5分過ぎからは互いにオールコートマンツーマンに切り替え戦った。山口57-22下松工。4Qは、3Qの流れそのままの展開。終盤に、下松工は吹っ切れたようにシュートが入り出し、最後の意地をみせたが、山口が逃げ切り、中国大会の切符を掴んだ。

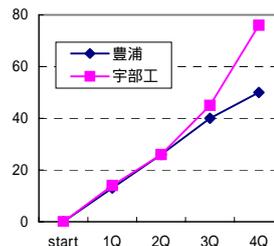


男子決勝リーグ 1月20日 12:00

豊浦 vs 宇部工 13 - 14 13 - 12 14 - 19 10 - 31 **50 - 76**

Starters
豊浦 #4高野 #6重宗 #7大森 #11竹中 #18原 主審 有澤重行
宇部工 #4宗野 #5池田 #6岸本 #7摩嶋 #10辰本 副審 勝原芳徳

お互いマンツーマンでスタート。1Q、宇部工は#5#7のリバウンドシュートで先制。豊浦はサイズがない分リバウンドが苦しい。2Q、宇部工は3連続ブレイクで引き離しにかかる。7点差つけたところで豊浦たまたまT.O.宇部工がこのままいかと思われたが、宇部工#7が立て続けにファールし、4ファールとなりベンチに下がるとリズムが崩れる。更に宇部工はテクニカルファールを取られ、豊浦は一気に追い上げに成功、同点で後半へ。3Q宇部工は2-1-2ゾーンに変化する中、豊浦#7が3P、#6のドライブで5点リードとするが、宇部工#11が苦しい中で3Pを沈め、撃くと、3Q終了間際に#10#4が立て続けに3Pを決め、逆に5点差をつけ最終Qへ。4Q、宇部工は豊浦がもたついている間に確実に加点し、9点差ついたところで豊浦がT.O.をとり、1-1-3ゾーンに変化。追い上げたいところだったが、宇部工は落ち着いて攻撃し、また、豊浦はアウトサイドのシュートがびたっと止まり、76-50で宇部工が逃げ切り、全勝とし、4年ぶりの優勝を飾った。

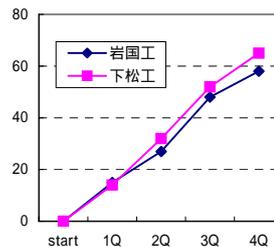


男子決勝リーグ 1月20日 13:30

岩国工 vs 下松工 15 - 14 12 - 18 21 - 20 10 - 13 **58 - 65**

Starters
岩国工 #4倉重 #6田谷 #7村上 #9橋本 #10森 主審 高木直樹
下松工 #4磯村 #5関 #6宮本 #7片田 #15兼石 副審 森脇太郎

両チームマンツーマンDEFでゲームスタート。立ち上がり、両チームとも決め手がなく、得点が伸びない。下松工は、激しいDEFで突破口を開こうとするが、対する岩国工は要所で#9のインサイドに合わせ得点。15-14で1Q終了。2Q、下松工は引き続きDEFプレッシャーをかけた相手のミス誘い、速攻、3P等で17-24と一歩抜け出すかと思いきや、ターンオーバーが起こり、流れに乗りきれない。一方岩国工は、相手DEFの激しいマークの中、#9を起点に得点。何とか食らいついでいき、27-32で前半終了。後半は一進一退の攻防となる。3Q、下松工が相手のパスミスからの速攻で得点すると、逆に岩国工も速攻で返す。両チームとも譲らず48-52で3Q終了。勝負の4Q、抜け出したのは下松工。DEFの足が止まった岩国工に対し、スクリーンプレイからの連続得点が決まる。残り4分で53-63と、この試合初めて1マークの点差となる。岩国工も#6のドライブ等で最後まで攻め続けるが、反撃もここまで。58-65で試合終了。下松工が意地の一勝をあげた。



男子決勝リーグ 1月20日 15:00

山口 vs 豊浦 23 - 11 22 - 15 14 - 16 21 - 18 **80 - 60**

Starters
山口 #4隅広 #5清水 #6上田 #7中原 #8水田 主審 渡辺博史
豊浦 #4高野 #6重宗 #7大森 #11竹中 #18原 副審 中村秀昭

最終試合は2位決定戦となった。1Q、両者マンツーマン。豊浦#4のシュートで始まる。山口DEFから速攻や#5の1対1で得点を重ねる。対する豊浦はシュートが入らず得点が伸びない。23-11と山口リードで1Q終了。2Q、出足山口のDEFが効いて豊浦は攻め手が無い。一方、山口は自由自在にOFFを展開する。豊浦#4が孤軍奮闘するがジリジリ点差が広がっていき、2Q、45-26山口リードで終了。3Q、山口、連続得点で一気にたたみかける。豊浦、残り4分でT.O.をとりオールコートプレッシャーから運動量あるバスケットを展開する。59-42で3Q終了。4Q、豊浦は3Q終わりの勢いを維持し9点差まで追いつく。たまたま山口T.O.その後、山口#5、#7が確実にシュートを決め豊浦の勢いをストップさせる。そのまま山口が80-60で逃げ切り3勝目を挙げた。中国大会出場を決めた両チームの健闘を期待したい。

